



一宮歩こう会 青春の東海道歩き

かわら版 26号



こんな風に見えるのと良かったのですが、下見の時は全然見えず、本番はチラリと頭だけ
 9月10日の第19ステージは清水—蒲原である。駿河湾越しに富士山が見えるサツタ峠を歩く旧東海道でも一番の景色が売り物のステージである。
 このコース、観光隊の下見は7/3に行った。清水駅から歩いて「清見寺」「西郷公望別荘跡」「脇本陣（水口ギャラリー）」を見学。清水—興津間は歩くのはやめる、拝観料を取った割に愛想が無かった清見寺の見学もしないことに意見一致。その後水口ギャラリーの学芸員のお姉さんに紹介された興津駅前の「魚伊」で食べた海鮮丼（7種類のネタが乗った丼と吸い物、サラダがついて750円）に一同感動。「これはぜひみなさんに食べていただこう」ということでコース決定。興津駅—西郷公望別荘跡—脇本陣（水口ギャラリー）—海鮮丼—サツタ峠—由比駅である。
 ところが8月に行った第20ステージの下見で「桜エビの町を謳う由比で桜エビを買う場所に寄らないのはどうか」「蒲原の浮世絵美術館も寄ってはどうか」という意見が出て由比—蒲原間を再調査。その結果、本番では興津駅—海鮮丼—サツタ峠—由比駅—由比漁港（売店あり）—東海道浮世絵美術館—桜エビ会館—蒲原駅を歩くことになったのだが……。アクシデントで当日は由比駅をゴールとした。

山田良明氏、サツタ峠登り口を前に心不全で倒れ、4日後ご逝去

メンバーの山田良明氏は、9月10日皆さんと一緒に海鮮丼を元気に食べられてから約1000メートル歩いて東海道線の踏切を越えたあたりで倒れられた。有志の懸命の人工呼吸、救急隊が来てからは3回のAEDを試みるも意識が戻ることなく静岡日赤に運ばれ4日後にご逝去された。
 山田氏は、7月の本隊在籍中も転ばれスタッフから「精密検査を受けてから参加してください」と注意され8月から観光隊に転籍した矢先であった。葬儀には会長他有志4名が参列させていただいたが、挨拶状には東海道のファイルも掲げられ、好きなことをしている最中とは言え、他山の石としたい。



山田良明氏のご逝去を悼む
 山田良明氏のご逝去を悼む
 山田良明氏のご逝去を悼む

山田良明氏のご逝去を悼む
 山田良明氏のご逝去を悼む
 山田良明氏のご逝去を悼む



山田良明氏のご逝去を悼む
 山田良明氏のご逝去を悼む
 山田良明氏のご逝去を悼む

